



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和7年3月18日

我孫子市小中一貫教育だより

第374号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ふるさと「自然災害を防ぐ」

我孫子第二小学校の5年生で Abi-ふるさとの授業が行われました。社会科「私たちの生活と環境」の単元の始めとして、「風水害に備えるにはどんな対策があるのだろうか」の学習課題に取り組みました。

5年生の社会科ではこれまでに、日本の国土は自然が豊かである反面、台風や洪水などの自然災害が多いことを学習しました。その対策として、各地で「ハザードマップの住民への配付」「放水路や砂防ダム建設」「警報をメディアで知らせる」などが行われていることを理解しました。次に、過去には我孫子市も洪水被害が多かったことが写真で提示され、「手賀沼や利根川に挟まれた地形だからかな？」と、地理的な視点から原因を考えると共に、大きな被害があったことに驚く児童がたくさんいました。我孫子市の対策を調べると、「今年2月にハザードマップが新しくなった」「避難所開設の訓練が行われている」など、公助が身近なところでも行われていることを確認しました。



安全・防災教育は、小学校高学年から中学校にかけて、自助や共助の取り組みから発展していきます。自治体の取り組みについて調べ、その実際や改善について議論したり、構想したりする学習を通して、より安全なまちづくりに参画する資質・能力を養っていきます。中学校へのつながりを意識し、「安全・防災」教育の充実が期待できる授業でした。

Abi-キャリア「SDGsについて」

湖北台東小学校5年生が総合的な学習の時間に Abi-キャリアの一環として「SDGs」をテーマに調べ学習と発表会を行いました。発表会には4年生も参加し、発表を聴きながら「SDGs」について学びました。

発表は、プレゼンテーションソフトを使い行われました。図や写真、アニメーション機能を用いたり、クイズを交えたりするなど、調べたことや自分の考えを効果的に発表する工夫が見られました。発表では、「SDGs 17の目標」から、5番「ジェンダー平等」を選んだ子は「性別によって被る被害」、12番「作る責任、使う責任」を選んだ子は「ゴミを資源に」というようにターゲットを絞り、なぜそれに興味を持ったのかと、世界で起きている問題を具体的に説明しました。その中で、なぜ「SDGs」の目標の一つになっているのか、目標達成に向けて企業や社会が努力していること、そして自分たちでできることについても発表しました。発表後、4年生からは「SDGs」への興味が深まったことが分かる感想発表がありました。



授業の振り返りでは、先生から実際に行動化することを促す助言もあり、総合学習や社会科の学習で大切な目的の一つである「学んだことをもとにした社会参加・参画」につながると感じた授業でした。